

The logo features a large, textured sphere with a smiling face and a hand reaching towards it from the right. Below the graphic, the word "touch!" is written in a bold, sans-serif font. To the right of "touch!", the Japanese characters "ひめしん" are written in a stylized, rounded font. Below this, the text "もっとふれあう あなたの" is written in a smaller, regular font. At the bottom, the words "touch each other" are repeated in a large, faint, dotted font. A small logo consisting of three interlocking diamond shapes is located at the bottom left.

飛翔する播磨企業 —

大規模な改修工事「平成の大修理」で素屋根に覆われている姫路城、大天守の工事はほぼ終わっている



新産業育成や観光振興へ

「銀の馬車道」を活用

この銀の馬車道を新産業育成や観光振興に役立てようという機運が高まってきたのが1999年以降。2007年には兵庫県中播磨県民局が中心となって沿道の市町、商工・観光団体、関連企業、学識者などに呼びかけ活動母体の「銀の馬車道ネットワーク協議会」を結成しプロジェクトをスタートさせた。市川流域に設置された銀の馬車道を中心とした南北交通のシンボルとして掲げ、産業や観光資源を再生する取り組みを展開している。

ぶ約49キロメートルの馬車専用道路。正式名は「生野鉱山寮馬車道」で生野銀山の採掘や精錬に必要な機械や日用品、産出された銀の運搬ルートとして整備された。「日本初の高速産業道路」とも言われている。

工事は市川に沿つて明治六年から三年間かけて行われた。当時のヨーロッパの最新工法「マカダム式工法」が採用され、フランス人技師の指導で、あら石、小石、玉砂利の順に敷き詰められた。水田より60セントメートル高く設定したこともあって雨などの天候に左右されず、馬車がスムーズに走行できるようになつた。こうした道路整備により輸送時間が大幅に短縮。当時の輸送経費が8分の1まで低減したと

その後、1895年（明治二十八年）の播但鉄道（現JR播但線）開通により、わずか20年足らずで銀の馬車道の役割は鉄道に移管。現在ではその大部分が

南北交通のシンボル

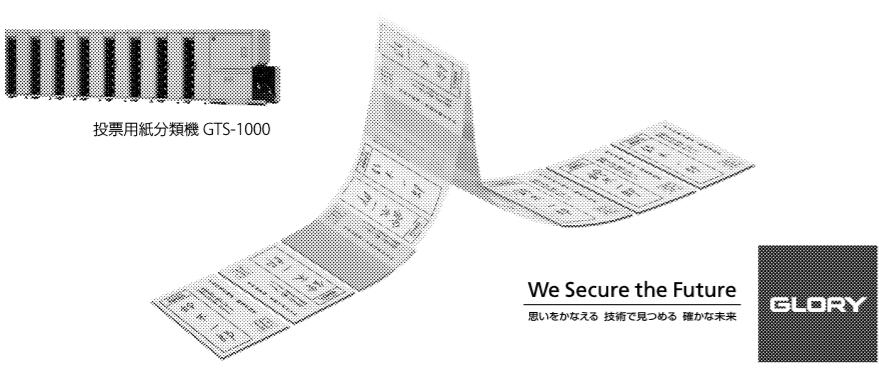
銀の馬車道

新駅ビル（左奥）と再開発工事が進む駅周辺



開発作業で、グローリーが出来ること。

投票用紙の分類作業は、“即日開票”を可能にするスピードと正確さが求められ、とても大変です。特に、表裏や天地の向きがバラバラな投票用紙を一枚一枚そろえる作業は、多くの時間と手間がかかります。そこで、グローリーの投票用紙分類機。通貨処理で培った認識・識別技術、メカトロニクス技術をベースに、投票用紙の手書き文字を読み取り、表裏・天地をそろえて分類する作業をすべて自動化。全国の「選挙」の裏方として、人に代わって正確かつスピーディーな開票作業をお手伝いしています。



自然環境と共生し オンリーワン技術で世界をリードする 開発型企業を目指す

Tateho

<http://www.tateho.co.jp>

国際防爆規格(ATEX)対応

～技術集約型企業
テイコク独自の技術です～

当社は世界各地の石油化学プラント、医薬・食品業界など様々な分野で活躍し続けているキャンドモータポンプのトップメーカーです。永年培ってきた技術力をさらに発展させて開発した世界最大級の超大型キャンドモータポンプは、高温、高耐圧設計に加え、各種最先端的な運転監視センサーを多数搭載した信頼性の高いポンプとして注目を集めています。この世界に誇る高い技術力で、常に最高品質の製品を供給していくことが私たちの使命であると考えています。

わざ
技術がめぐる、心がかよう 人間と技術との融合
 株式会社 帝国電機製作所
<http://www.teikokudenki.co.jp>